



ティーンズの本棚

2020年 12月 第130号
(月1回発行)
半田市立図書館
tel 0569-23-7171
亀崎図書館
tel 0569-29-5060



半田市立図書館キャラクター
ブックんとしおりちゃん

図書館には、ライトノベルをはじめ、中高生のみなさんが楽しめる読み物があります。図書館のホームページから、蔵書の検索ができます。登録をすれば貸出中の本はwebから予約ができますので、ぜひご利用ください。

12月の本 クリスマスのホラー小説

心あたたまるお話もいいですが、ちょっと変わったクリスマス本はいかがですか。

ホートン・ミア館の怖い話

クリス・プリーストリー 著 西田佳子 訳 理論社 (J933/7)

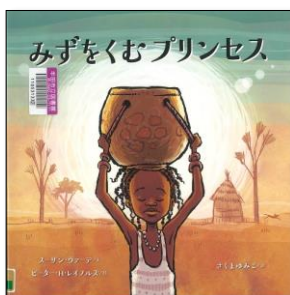


両親を亡くし、天涯孤独になったマイケルは、後見人のスティーヴン卿が暮らすホートン・ミア館でクリスマス休暇を過ごすことになりました。館へ向かう馬車の窓から、何かを叫ぶ濡れの女の姿を目撃しますが、大人たちは誰も信じようとしません。館で暮らすうち、マイケルはこの館に伝わる悲しくて恐ろしい出来事を知らされます。そして、クリスマスの日、ついにマイケルの身にも危険がせまり…。呪われた館を舞台にした恐怖の物語。

10分あったら読んでみて

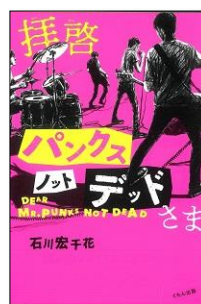
みずをくむプリンセス

スーザン・ヴァーデ 文 ピーター・H. レイノルズ 絵
さくまゆみこ 訳 さ・え・ら書房 (Eみどりノミ)



自分のことを「プリンセス」と呼び、歌や踊りが好きな少女ジージーの一日は、朝早く遠い川まで水を汲みに出かけるところから始まります。お母さんと二人で長い時間歩き続け、ようやく辿り着いた水場には、たくさんの女の人が水を汲むために並んでいます。そして、一日の終わりにやっと手に入れた水は、茶色く濁っていて…。

新しく入った本



拝啓パンクスノットヘッドさま

いしかわひろちか 作 くもん出版 (T913/I)

高校生の晴己は、弟の右哉とふたり暮らし。学校に通いながらアルバイトを掛け持ちし、なんとか暮らしています。晴己にとって、「これさえあればだいじょうぶ」と感じさせてくれるもの、それがパンクロックでした。いつか兄弟でバンドが組めたら…そんなことを考えていた晴己のもとに、チャンスが訪れます。

科学者になりたい君へ

さとうかつひこ 著 河出書房新社 (T407/4)

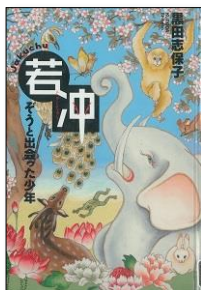


著者の佐藤さんは、世界ではじめて宇宙発生のメカニズムを解いた「インフレーション理論」を提唱した宇宙物理学者です。この本の中で自分の科学者人生を紹介しながら、「優れた科学者になるためには何をしたらよいか」を語っています。「不思議だな、おもしろいな、知りたいな」と思ったことを研究するのが科学者です。科学にあまり興味のない方も、その面白さを知ることができます。

今月のテーマ「修行」

若冲 とうと出会った少年

くろだしほこ 著 国土社 (J913/7)



江戸時代、京都の青物問屋の長男として生まれた忠兵衛。もっぱら絵を描くことにしか関心がありません。京都にやってきた象の姿を目にし、絵師になる思いを強くする忠兵衛でしたが、父が倒れ、店の跡を継ぐことになりました。そして歳月が過ぎ…。忠兵衛が、絵師として若冲と名乗るまでのお話。

クラバート

オトフリート=プロイスラー 作 ヘルベルト=ホルツィング 絵
なかむらこうぞう 中村浩三 訳 偕成社 (J943/7)



少年クラバートは、不思議な夢に導かれ、沼地にある水車場の見習い職人になりました。ある金曜日の夜、親方に呼ばれたクラバートは、カラスの姿に変えられ、仲間の職人とともに魔法の修行をはじめます。そして3年後、クラバートは自由と愛を求め、親方との戦いに挑みますが…。ドイツの伝説をもとにした物語。